

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビリーブ笹原		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 3日	～	令和7年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 3日	～	令和7年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常に良い方向へ進むために業務改善の意識を強く持ち日々の業務に取り組んでいる。	・毎日の朝礼やミーティングにおいて支援内容の振り返りを行い、課題や改善点を共有しています。ヒヤリハット事例や保護者からのご意見を記録・分析し、再発防止や支援の質向上につなげています。また職員同士が気づいた点を気軽に発信で	・PDCAサイクルを意識し、計画→実施→評価→改善を継続的に行っていき、より良いサービスの提供、充実した支援へと繋げていけるようにしていく。
2	手厚い職員配置や様々な資格を持つ人材による適切な支援の提供。	・保有資格や経験(保育・福祉・教育・心理等)を活かし、それぞれの専門性が発揮できるよう役割を設定し、ケースによっては専門的視点から助言を行い、支援方法を検討しています。	・OJTの質を高め、若手職員へ専門知識や対応力を継承する仕組みを整える。「個の専門性」だけでなく「チームとしての支援力」を高める視点を持つ。
3	日々、月ごとの多彩なプログラムの提供、個人に合った支援、ご家族様との連携。	・個別支援計画やモニタリング内容に基づき、5領域(健康・生活/運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性)を意識した活動を月ごとにバランスよく組み込んでいます。連絡帳や送迎時の対話を通して日々の様子を丁寧に伝えさせていただき、家庭での様子や困りごとを共有して支援に反映しております。	・職員間でのケース検討会を定期的に行い、支援の幅を広げる。ご家族様との連携はアンケートや面談の機会を活用し、ニーズの深掘りを更に行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペース、生活空間の環境上の配慮。	ジョイントマットやコーナーガードなどを付け、安全に過ごせるように配慮しているが借家の為全面バリアフリーなどの改修は難しい現状にあります。	生活空間は危ないものや入ったらいけない場所等に分かりやすいように視覚で判断できるように掲示している。身体が不自由な利用児はいないが、段差など気をつけたいといけない箇所は介助できるよう努めている。
2	他施設、地域内の他事業所との交流について。	同敷地内で複数事業所を展開しているため、他施設、他事業所との関わりを行っていません。	近くの公園の利用や近くのお店などは変わらず関わりを持っていくようにし、無理のない範囲で交流などは検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ピリブ笹原

公表日 令和8年3月6日

利用児童数 17名

回収数 17世帯

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	3	小さな低学年の子供は大丈夫だと思いますが大きな年齢のお子さんはどうか分かりません。	利用人数や状況に応じて2階の部屋を使用し、学習スペースと遊びのスペースの確保に努めています。 また、ご希望があれば個別に見学いただけるよう柔軟に対応いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	2	特になし	利用者10~15名に対し職員を4~5名配置する等、手厚い人員配置で支援に臨んでおります。また、社会福祉士や精神保健福祉士、教諭免許・保育士等の資格保有者をはじめ、教育や支援の現場に従事した経験のある職員が在籍し支援・指導を行っています。 新年度には職員の配属等をお知らせするお手紙を配付しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	0	4	施設が一般の一軒家なので身体に不自由のあるお子さんが利用しやすいか分かりません。	民家をお借りしているため、段差等の改善は出来かねますが、お子様が安全に活動できるようコーナーガードやジョイントマット、滑り止めなどを使用し過ごしやすい環境作りを心がけています。また外出時同様、必要に応じて声掛けや手を繋ぐ等のサポートをさせていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	2	マンションの一室とは違って一軒家なので実家に帰ってきたような過ごしやすく思います。	事業所内は毎日職員で清掃と場所にに応じて消毒(アルコール除菌・次亜塩素酸消毒・オゾン発生装置の設置)を行っています。 一軒家という環境を活かし子どもたちが「ただいま!」と帰って来やすいアットホームな雰囲気を大事にしています。 また、遊具の収納や学習スペースなどお子様の活動に合わせて対応できるように心がけています。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0	特になし	事業所でのお子様の様子等を職員間で把握し、保護者の方とご家庭や学校の様子などお話を聞いて照らし合わせながらニーズや特性に合わせた支援が出来るよう取り組ませていただいております。	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1	特になし	5領域やこどもたちの特性を考慮したイベントをバランスよく取り入れた活動を心がけています。 スモールステップで達成に向けて支援を行っています。	
7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	特になし	ご家庭や学校、事業所等様々な環境の中でお子様の様子を保護者の方や学校の先生と職員で情報共有に努め、一人ひとりの課題や目標についてチーム内で話し合い、見通しのある計画を立てています。	

適切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0	特になし	ガイドラインに沿って計画を作成しています。お子様の特性に配慮し、成長過程に合わせ目標を設定した支援内容を職員間で共有し、支援・指導に努めています。お子様や保護者の方からの成長過程から生ずるお悩み等も相談に応じています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	1	特になし	契約時にアセスメントを取らせていただき、お子様の成長に合わせ半年ごとにモニタリングを行い、スモールステップで計画を立て日頃の支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1	0	2	特になし	お子様が楽しんで参加できるよう日々の遊びやイベントの中に5領域の要素を取り入れながら、コミュニケーションの取り方やルール・マナー等を学べるような様々な活動を組むようにしています。お子様の成長に合わせて課題・ニーズも変わってきますので、その点も特に留意しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	0	8	特になし	現時点では活動実績はないので今度検討させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1	0	1	特になし	見学に来られた際や契約時など利用開始時には資料をお渡しして説明しております。またご不明な点がありましたらその都度対応させていただきますのでご連絡ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	特になし	お子様や保護者の方にしっかり聞き取りを行い、計画を作成し同意をいただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	1	1	特になし	現時点では保護者の方を対象にした研修会の実施などは開催していませんが、必要に応じて支援方法や情報の提供を行わせていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0	特になし	お子様の様子は日々の活動の中で変化を把握し、職員間で情報共有しながらお子様の様子や状況を保護者の方にお伝えできるよう努めております。ご利用時の様子や内容は連絡帳や送迎時にお伝えさせていただいております。必要に応じて、管理者や職員から電話などでご連絡させていただくこともあります。保護者の方からもご家庭の様子など伝えていただいたり支援にご協力いただいております。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	0	0	0	個別支援計画時などお話しして助かっています。	半年に1度モニタリングを行い保護者の方からのご相談や次の支援に向けた計画をさせていただいております。別途、成長過程に生じたお悩み等のご相談、お子様の様子に変化があった際など、面談や電話にて対応させていただきます。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	1	一緒に成長を感じていただいているので嬉しいです。	ありがとうございます！ 小さな事でもお子様が達成できたことや変化を保護者の方にお伝えできるよう努めています。 これからも一緒に成長を重ねていければと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	0	2	交流イベントは仕事のため行けてないが写真で兄弟交流などを(楽しそうな)見て一緒にのサービスで良かったと思います。	今年度は10月に親子交流会・保護者懇談会を行いました。ご参加いただき、ありがとうございます。 今回は1・2・3号館合同で春日市ふれあい文化センターの会場をお借りして開催することが出来、兄弟児はもちろん他号館のお友だちや保護者の方々とレクリエーションを通して交流できる機会がとれました。今回ご参加できなかった保護者の方には、写真をまとめた用紙と資料をお渡ししております。 今後も定期的に保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様の意見を聞いていきたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0	特になし	お子様や保護者の方からいただいたご相談等、職員間で情報共有を行いながら迅速に対応できるよう努めています。2階の相談室など落ち着いた話せる環境を設けるようにしています。また契約時には苦情窓口のご案内をさせていただいております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0	こどもの発言にもしっかり対応していただき細やかな配慮が行き届いていると感じます。	ありがとうございます！ お子様の様子や日頃のご連絡は、保護者の方に共有・共感していただけるよう連絡帳に記載しお伝えしております。ご理解ご協力いただきたい事項などは別途用紙に記入してお伝えするなど伝達方法に注意しながら取り組んでおります。 今年度は途中より連絡帳を冊子から電子配信させていただくことになり、お手持ちのスマートフォンから連絡帳をご覧になることができるようになりました。慣れるまでご不便をおかけしてしまうかもしれませんが、ご活用いただければ幸いです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	1	特になし	活動概要・行事予定・詳細は月末に配布して活動内容や注意事項などをお知らせできるようにしています。 活動の様子については、イベントの際に撮ったお子様たちの活動風景などの写真を各イベントごとにまとめ、毎月ご家庭に配布させていただきます。 また、事業所のホームページにて活動の様子をブログを公開させていただいております！ 自己評価アンケートの結果もホームページにて公開しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	2	特になし	マニュアルを作成し、個人情報漏洩防止・秘密保持の徹底を周知しております。また、書類・写真等は社外への持ち出しを禁止しており、個人が特定されるような書類についても必ずシレッダーで処分しております。ブログにて写真を添付する際もお子様のお顔や名前など個人情報が写らないよう加工して載せています。今後も徹底して個人情報などの取り扱いに注意してまいります。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	3	特になし	各種マニュアルを作成し、周知させていただき保護者の皆様にも配布しております。福岡市の基準に合わせ、都度更新をしています。また職員全体で研修や訓練なども事業所内で実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	4	学校などでも行われていますが、家などではしていません。訓練で不安もなく学校でも落ち着いてできているようです。	避難訓練の実施は年2〜3回実施しております。火災・地震・水害(浸水)など様々な非常時を想定し、定期的に避難訓練等を行っております。その都度振り返りを行いながら、非常事態でも安全に避難できるようにしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	14	1	0	2	特になし	安全計画を作成し、災害時や緊急事態の際の手段・方法をマニュアル化しており、安全の確保が十分に行われた上で支援をさせていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17	0	0	0	特になし	事故や怪我が発生した際は、内容や状況の確認を速やかに行い緊急連絡先にご連絡させていただいています。その際、詳細をお伝えし事後の対応まで説明できるよう努めています。事故や怪我について職員間で周知し再発防止に努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	特になし	お子様が元気に「ただいま！」と安心して帰ってこられる場所になるよう支援・指導をさせていただいています。また保護者の皆様にもご理解とご協力をしていただきながら一緒にお子様の成長を共感できればと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	1	とても楽しんでいます。イベントは前日から燃えている日もあります。	いつもご理解とご協力いただきありがとうございます！ 5領域やお子様の関心や課題を考慮してイベント内容を組ませていただいております。新しいイベントやレクリエーションなど試行錯誤ではありますが楽しく活動できるプログラムも取り入れるよう取り組んでいます。また、日々の遊びや学習、友達や職員との関わりを通じて、個々の目標に向けて様々な経験を積んでいけるよう支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	安心してあずけられる場所です。	ありがとうございます！ お子様たちや保護者の皆様の気持ちに寄り添い、一緒にお子様の成長を喜び、共感しながらよりよい支援ができるよう今後も努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ビリーブ笹原		令和8年3月6日				
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習と遊びの環境を分けて、集中して学習できるように配慮し部屋を使用している。また必要に応じて学習などで2階も使用している。	定員に近い利用人数で下校時間が重なるなど、一時的に学習スペースが窮屈になってしまう場面もある。また、学年が上がるにつれ体格の変化もあり体格のいいお子様には窮屈に感じてしまう場面もある。スペースの配分はその都度状況に合わせて行くようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に合わせて職員の配置を行っている。職員が互いに連携をとり、こども達の状態に合わせて見守りを行っている。	利用学校数が多い日等、学校送迎時間が重なってしまう場合があり一時的に職員が少なくなってしまう場面がある。他号館の協力を仰ぐなど対応できる場面もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	ジョイントマットやコーナーガードなどを付け、安全に過ごせるように配慮している。生活空間は危ないものや入ったらいけない場所等に分かりやすいように視覚で判断できるように掲示している。	借家の為、すべてをバリアフリー化にするのは難しい。身体が不自由な利用児はいないが、段差など気をつけたいといけない箇所は介助できるよう努めている。部屋や使用するもの等、視覚で分かるように標示して工夫している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日活動終了時に清掃・消毒(アルコール・次亜塩素酸水で拭き上げ)を行う等衛生管理をしている。学校長期休み前後に大掃除を行うようにしている。子どもたちの活動の導線に合わせて学習スペースと遊びのスペースを分けている。使用する物の収納等も配慮している。	おやつを食べた後にお菓子のかすが残っている場面がある。自分が食べた後はキレイにしてから次の活動に移るよう声掛けを行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		集中して学習に取り組めない場合や気持ちや体調が不安定な場合など必要に応じて見守りの職員と共に個別の部屋を使用している。オンライン授業などが発生した場合も事前に把握していれば個別の部屋で取り組めるようにしている	職員の人数によっては対応できない時間帯がある。出来る限り空間を離して取り組めるよう工夫するようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の情報共有や振り返りなど、状況に応じてカテゴリズミーティング内で全職員参加して毎日行っている。業務や行事を円滑に行えるよう報告・連絡・相談・確認を周知徹底している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ガイドラインに沿って利用していただいている保護者の方々に、年に1回アンケートのご協力をお願いしている。集計後は職員間で共有・話し合いを行いいただいたご意見に応えられるように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティング内にて情報共有のため様々な角度から職員の発言があり、最善に繋がられるよう努めている。また年に数回、職員の面談や自己評価のアンケート等を行っている。	

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	実施していない	検討をしていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	年に数回、虐待防止・身体拘束・衛生管理などの研修などを開催している。また基幹相談等が開催している研修なども可能な限り受講している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	個別支援計画やモニタリング内容に応じた支援ができるよう、5領域や子どもたちの特性を考慮したイベントをバランスよく取り入れている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	年2回のモニタリングや日々の生活での気づきを活かし、保護者の方の意見やニーズを確認し作成されている。また相談事業所等と連携が取れるように心がけている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	計画案を作成するにあたり職員間で話し合い、情報共有とともに改善点がないか検討している。また、モニタリングや記録・連絡帳・日々の生活の中での気づきを活かしてモジュールステップで達成して行けるよう取り組んでいる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	計画作成後は職員間で共有し、達成に向けての取り組みやイベントの内容などを協議し実施している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	保護者の方からいただいた情報を基にアセスメントシートを作成し、成長に合わせ定期的に見直しを行っている。また、日々の行動観察も記録し共有できるようにしている。子どもたちの目線にあわせて接するよう心掛けている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	ガイドラインに沿って作成している。また、子どもの特性や目標に合わせた支援内容を設定しお子様や保護者の方のニーズに合わせて構成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	日々子どもたちの状況を把握して活動内容を検討している。イベントが偏らないよう新しいイベントも積極的に取り入れるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	イベント内容が重複しないよう五領域それぞれに適したイベントをバランスよく組んでいる。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	イベントの内容に応じて活動を個別で行うか集団で行うか配慮し実施している。また、子どもたちが楽しく参加でき、支援がマンネリ化しないように工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	職員間で朝・昼のミーティングを行い、イベント内容の確認スケジュールを職員や子どもたちが見える場所に掲示している。見通しがたち、円滑にイベントに取り組めるように協力して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その日の振り返りは業務日報に記入し、特記事項やトラブルなど職員間で報告・相談を行い記録を付けるなど、支援の振り返りができるよう心がけている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	業務日報などにイベントの内容や日々の支援を記録している。子どもたちの気付きやトラブル事例など別紙にて記録をとり改善につながるよう職員間で取り組んでいる。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	半年ごとにモニタリングを行い、ニーズに合った計画になるよう見直しをしている。		

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立支援・創作活動・地域交流・余暇支援を組み合わせ合わせて活動内容を計画し、複合的に支援している。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		職員が指示を出して動いてもらうのではなく、自分で考えて行動する機会を与え、振り返りが出来るようにしている。また、日々の活動の中やおやつを選択時も設定金額に合わせて自身で選び決定している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的には管理者(自発管)が出席している。必要に応じて指導員が参加する場合もある。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		基幹相談・相談支援事業所、保育所等訪問などと必要に応じて情報共有・連携を取れるようにしている。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校へは送迎時や電話にて連絡を取っている。利用人数を把握できるカレンダーを毎月作成したり、在籍職員表を公開している。また必要に応じて学校へ出向き支援会議等の実施も行っている。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて相談事業所を含め、情報共有をさせていただいている。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供・共有をしている。また卒業生のいる事業所への訪問も行っている。卒業生たちも折を見て来所し活動報告をしてくれている。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今年度は南部療育センターへ代表者が見学をさせてもらっている。また研修などがあれば、複数の職員が代表で参加させていただき、事業所内で研修内容の共有を実施している。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現時点では行われていない。	現時点では活動実績はないので今後必要に応じて検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			会議や研修などに参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳への記入や送迎時に保護者と対面する際にその日の様子や活動内容を伝えたり、ご家庭での様子を伺ったりするようにしている。必要に応じて電話・メールでの連絡も行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			必要に応じて支援方法の提供を行っている。また、相談事業所との連携をとれるようにしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			見学に来られた際や契約時など利用開始時に説明を行っている。イベント詳細などお手紙を配布する等変更が生じる際にはお知らせをしている。また問い合わせがあればその都度対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			利用児本人や保護者に聞き取りを行い、ニーズに基づき作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			都度説明し支援内容の確認後、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			相談があった際は電話や送迎時等対面して保護者の方の気持ちに寄り添えるようにその都度対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は10月に事業所全体で保護者会・交流会を春日市ふれあい文化センターで開催し子どもたちや保護者の方々と日頃イベントで取り組んでいるレクリエーション活動で交流を深めることが出来た。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情の内容や状況の確認を速やかに行い、職員間で周知し再発防止に努めている。また、記録を取り振り返りが出来るよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		イベントの詳細や活動時の写真をイベント毎にまとめ、カラー印刷で月1回配付している。また、HP上にてブログの更新を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いが徹底されており、社外への持ち出し禁止を厳守している。個人が特定されるような書類に関してもシュレッダーで処分されている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて口頭での説明に加え、視覚的支援や文章にて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現時点では地域への招待等の実績はないので必要に応じて今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、周知している。また研修や訓練なども事業所内で実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、内容に沿って定期的に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時のアセスメントにて確認している。また服薬の変更などについては、その都度情報共有を実施している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者と共有させていただき、給食・おやつクッキングなどの際には事前に提供できるか確認させてもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業者安全計画を作成し、毎年研修・訓練・見直しを行い周知している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアルを作成し、各家庭へ配布するなど連絡、周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		どのような場合に起こるか事前に事例を挙げる等、全体で注意喚起を行っている。起こってしまった場合その都度報告書を作成し、職員間で情報共有を行い再発防止に向け、振り返り改善できるように取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置している。年に研修を年1～2回開催し、様々な虐待案件を例に上げ職員全員周知徹底している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、職員全体に身体拘束の事例が出た際、報告と研修を行っている。また個別支援計画への記載を行い、身体拘束が起こった際は記録をとるとともに再発防止に努めている。		